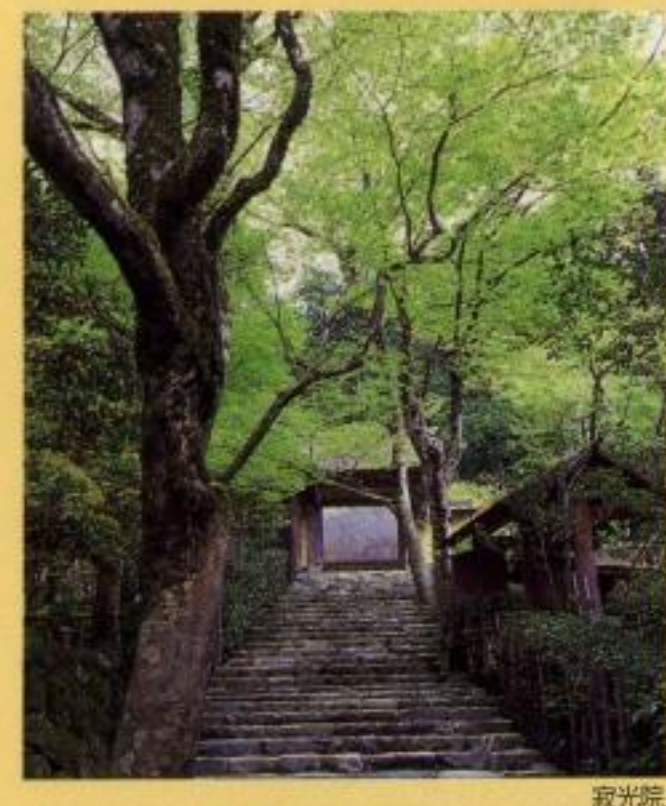


# 大原の里散策地図



**寂光院**  
 聖徳太子が推古2年に建立された古刹。その後、建礼門院が隠棲されて平家物語の大原御幸で名高い。平成12年5月に本尊本堂が焼損したが、復興への準備が進められており、現在は拝観が再開されている。



**麗の清水**  
 寂光院への参道の途中にある泉。建礼門院が寂光院にお入りになる道すがら日が暮れて、月の明かりでこの泉に姿を映されたという。



**阿弥陀寺**  
 中国風の山門から歩いて30分。山の中腹にある浄土宗のお寺。カエデの古木の紅葉は見事で、夏の涼しさは格別。



**金毘羅山**  
 海拔572m。全山岩に覆われ、国体の登山の競技場にもなった。江文神社または寂光院から登れる。大原盆地のパノラマが眼下に広がる。

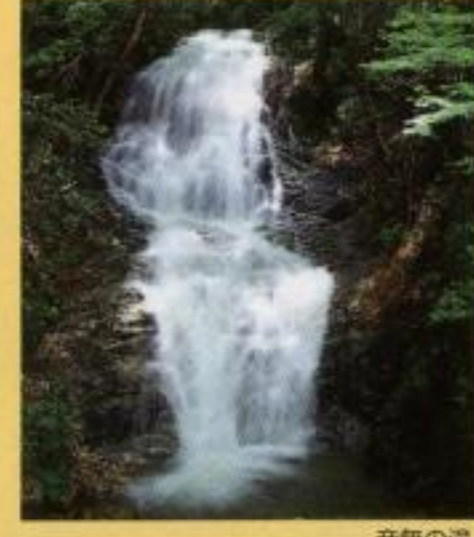
**小松均美術館**  
 大原の地で自給自足の生活を続け、「画仙人」と呼ばれた日本画家の小松均の美術館。大原や故郷の最上川などの自然を題材に、色彩画や水墨画の名作を残した。美術館はアトリエ兼住居を改装して造られたもの。



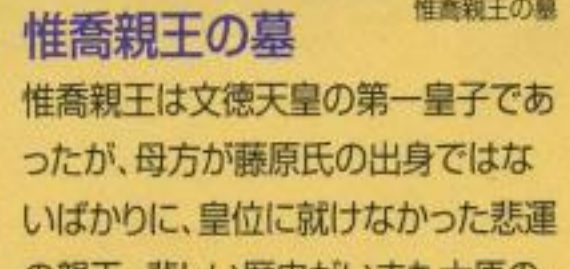
**来迎院**  
 重文の薬師、弥陀、釈迦の三如来座像をまつ。かつては声明の修行道場でもあった。



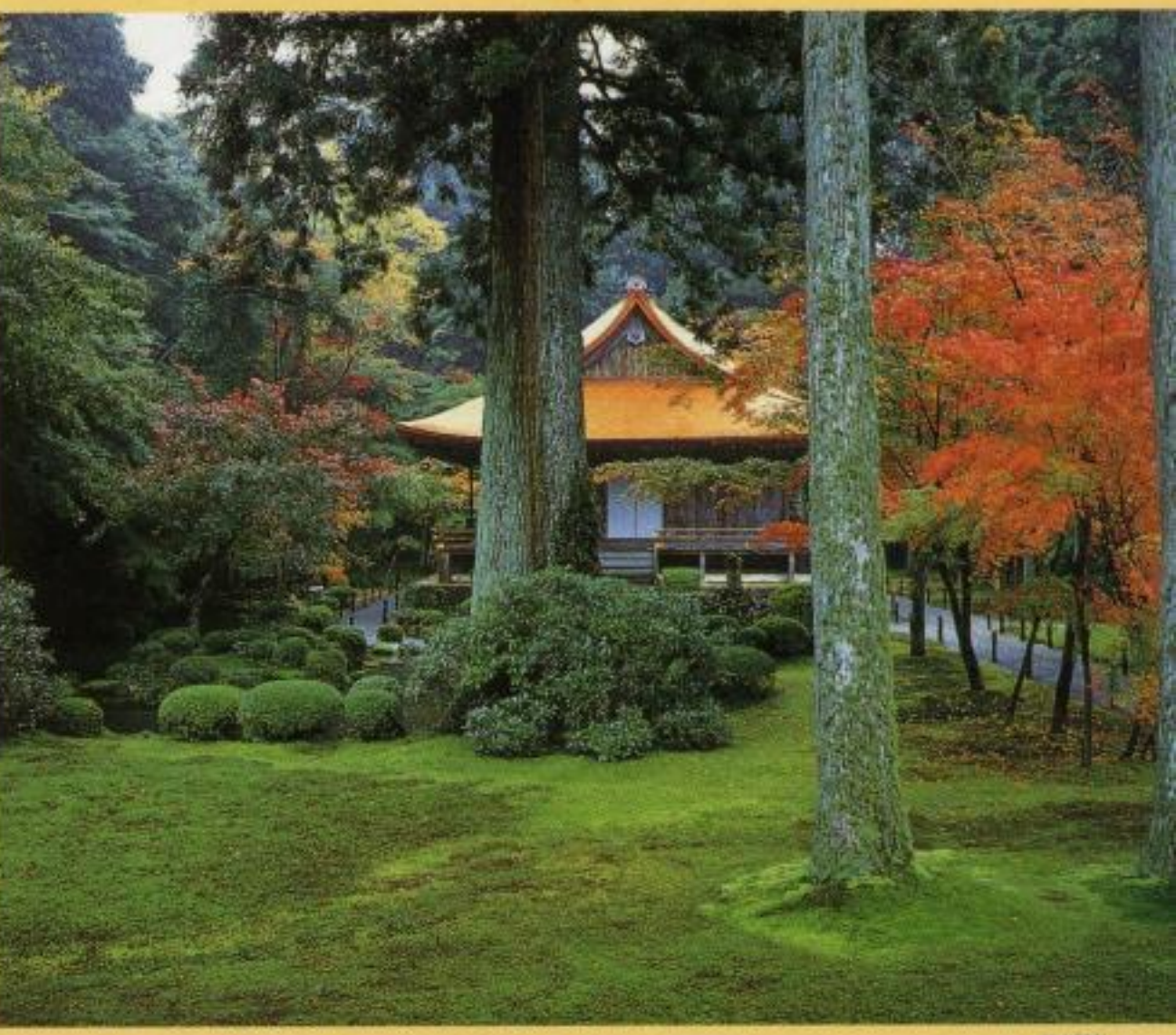
**音無の滝**  
 昔、高僧がこの滝に向かって声明の練習をしていると、滝の音と声明が和して滝の音が消えたという故事による。



**惟喬親王の墓**  
 惟喬親王は文徳天皇の第一皇子であったが、母方が藤原氏の出身ではないばかりに、皇位に就けなかった悲運の親王。悲しい歴史がいまも大原の里に語り継がれている。



**花尻の森**  
 大原の里の入り口にあつて春の落ちツバキで有名。源頼朝が建礼門院を監視させた屋敷跡で、おつう伝説の舞台にもなっている。



**三千院**  
 コケと池泉の庭園、浄土世界の往生極楽院と優美な仏像が人気。自然林のなかのアジサイ苑はやすらぎの散策地。新緑、紅葉も美しい。

**勝林院**  
 かつての声明(仏教の儀式音楽)の修行道場。大原問答でも知られる。大伽藍のなかの大仏さんは美男で見上げるほどの大きさ。

**宝泉院**  
 樹齢600年を越す五葉松と竹林の庭が有名。一服のお茶をいただきながら、しばし俗世を忘れることができる。

**実光院**  
 歴代住職は声明を伝承することが本務。声明に関する楽器も見られる。不断桜とシャクナゲが美しい庭の契心園がある。

